

ものづくり企業にとって役に立つ、公的支援機関やサービス紹介。
必要な情報収集や企業間のネットワークづくりに活用ください。



地域の魅力を全国に発信し、 海外市場への進出もアシスト！

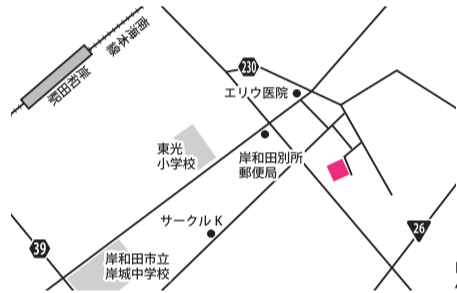
勇猛果敢な「だんじり祭」、記憶に新しいところでは、NHK朝ドラ「カーネーション」の舞台。そんな突出したトピックで話題になることが多い岸和田だが、山と海に囲まれた当地は、農水産から工業分野まで、幅広い産業が育ってきた。地場産品と観光を柱に地域をさらに活性化すべく様々な支援活動を行っているのが岸和田商工会議所。企画業務部長の西岡数房氏は「『うちこの町にこんなあったんけ！』と地域の名産や隠れた名所を知って驚く人が多い。市外の人々はもちろん、地元の人々にも当地の魅力を発信したい」と語る。そんな願いで創設されたのが、市と商工会議所で推進する「岸和田ブランド」プロジェクト。平成24年度までに伝統工芸品の大阪

泉州桐筆筒をはじめ、和菓子や昆布といった加工食品や農産品など12点の岸和田ブランドが認定され、現在新たなエントリーを募集中だ。同所のホームページでは岸和田ブランドの紹介をコンパクトに編集した動画が掲載されている。また、今年から地元企業の海外進出をサポートするため、現地にオフィスを持つ民間コンサルと連携し、米国に向けた日本企業のプロモーション動画の配信サービスを始めた。従来にはない斬新な取り組みとして、他の商工会議所にも同様の動きが広がりにつつあるという。一点突破を狙う地元企業の名アシストぶりをこれからも期待したい。

岸和田の魅力を紹介するパンフレット(写真上)を前に、地域活性化への想いを語る西岡氏。(写真中)下の写真は、米国向けプロモーションの資料。



map



access

電車をご利用の場合
南海本線「岸和田駅」下車
南東へ徒歩 15分

information

岸和田商工会議所

岸和田市別所町 3-13-26
TEL.072-439-5023
<http://www.kishiwada-cci.or.jp/>



大学発バイオベンチャーの起業・育成から、 幅広い分野での連携をめざす！

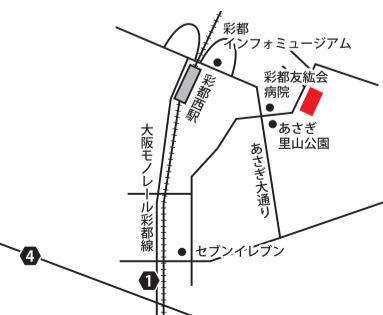
茨木市の「彩都ライフサイエンスパーク」は、約15施設、1,500名を越える研究者が活動を行っているライフサイエンス分野の一大拠点。その中核として、大阪大学などの研究機関から生まれたバイオベンチャーを中心に支援している『彩都バイオインキュベーション施設』が、来年でオープンから10周年を迎える。特色の異なる3棟からなる同施設では、全室ウェット・ラボ仕様の研究室をはじめ、研究をサポートする共用設備などを擁し、起業のサポート、同パーク内外の研究機関との連携といった多角的な企業支援を行う。地元の茨木市や茨木商工会議所などとの連携を深め、地元企業とのビジネスマッチングを推進している。入居企業は、大阪府の「彩都バイオベンチャー設備補助金」や茨木市の「賃料補

助制度」のほか、同地域が関西イノベーション国際戦略総合特区地域に指定されているため「設備投資減税」のいずれも対象になる。3棟を運営するバイオ・サイト・キャピタル株式会社の荻野真一氏は「当初は医療機関などに近い立地から、創業ベンチャーを意識していましたが、今後は医療機器や創薬の研究のプロセスに関わる企業の支援にも幅を広げたい」と語る。同社の岩橋真理子氏は「『彩都バイオサイエンスセミナー』などの催しで、業界外の企業にもライフサイエンスに関心を持ってもらえるような取り組みを積極的に行っています。セミナー後のランチ交流会などで、異業種間を含めての仕事が回る環境づくりのお役に立てれば」と、地域や業界の垣根を越えた交流にも注力したい考えだ。

『彩都バイオインキュベーション施設』は、「彩都バイオインキュベータ(写真)」「彩都バイオヒルズセンター」「彩都バイオインキュベーションセンター」の3棟からなる。



map



access

電車をご利用の場合
大阪モノレール彩都線「彩都西駅」下車
徒歩 約8分

information

彩都バイオインキュベーション施設

(問合せ先：バイオ・サイト・キャピタル株式会社)
茨木市彩都あさぎ 7-7-15
TEL.072-640-1060
<http://www.bs-capital.co.jp/>